| 学校番号 | ３２０ |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理Ｂ | 単位数 | ４単位 | 年次 | ３年次文系 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 『新詳地理Ｂ』（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 『新詳地理資料 COMPLETE2022』（帝国書院） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○地球を舞台に生活している様々な人間の営みについて，地域の環境条件や他地域との結びつきなどから学習する。
○その地域では，なぜそのような営みの特徴があるのかを論理的に解明し，因果関係を確認することが大切である。
○その際には，地図，地形図はもちろん，様々な統計資料を基にして，実証的に考えることが欠かせない。

## ２　学習の到達目標

①現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識を深める。
②現代世界の諸地域を，歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を深める。
③地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生き，現代世界の諸課題の解決に努める意欲と資質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ○地理的諸事象,現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き，人々の生活・文化との関わりに留意して，事象・課題相互を積極的に関連づけ,認識を深めようとする。<br>○地理学習で得た知識・技能・態度を活かして,現代世界の諸課題解決の方策を見出そうとする。 | ○地理的諸事象から地理的概念や地理的な見方･考え方を見いだし,現代世界の諸課題の現状について把握することができる。<br>○現代世界の諸地域の特色と歴史的背景との関わりを踏まえ,現代世界の諸課題の解決策を,持続可能性という観点から考察することができる。 | ○地理学習に必要とされるさまざまな資料や統計の分析から，地理情報を見いだすことができる。<br>○それらの情報を的確に地図化する，もしくは論理的に分析･解釈し,その成果をレポートなどに的確にまとめることができる。 | ○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色や諸地域で起こっている諸課題について，多面的・多角的に理解を深めている。<br>○地理的思考や追究に必要な基礎的知識や基本的概念を身につけている。 |
| 評価方法 | 授業への取り組み(発問評価)<br>課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 | 課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 | 課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 | 課題プリント<br>小テスト<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 自然環境 | 世界の地形 | ○ | | ○ | ○ | a: 生活環境の基盤となる地形の重要性や，地球表面の起伏の状態とその形成要因について関心が高まっている。<br>b: 世界の地形について，その成因を分類して考察している。<br>c: 任意の地域のさまざまな地形図や写真などの資料を通し，その地域の地形の特徴と成因を読み取る方法を身に付けている。<br>d: 世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解している。小地形の特徴とその形成過程とともに，人間生活との関係を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 前期 | 自然環境 | 世界の気候 | | ○ | ○ | ○ | a: 世界に分布するさまざまな気候について，各気候の成因を意欲的に考察しようとしている。<br>b: 地域によって生じる気候の違いとその要因を気候因子から説明している。<br>c: 雨温図やハイサーグラフを正確に読み取る。さらに，各気候区の分類基準をもとに，気候区を判別する方法を身に付けている。<br>d: それぞれの気候の気候要素の特徴を気候因子との関係から理解し，気候帯の分布と植生・土壌との対応関係を知識として身に付けている。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 自然環境 | 環境問題 | ○ | ○ | | | a: 地球環境をめぐる国際協力の具体的な取り組みと持続可能な社会のあり方について関心が高まっている。<br>b: 地球温暖化やオゾン層の破壊といった環境問題発生のメカニズムと，その影響を考察している。<br>c: 地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因について，その地域的特徴を読み取る方法を身に付けている。<br>d: 地球規模で起こるさまざまな環境問題の背景・要因とそれによってもたらされる影響について多面的に理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 前期 | 資源・産業 | 産業の発展と地域変容 | | ○ | | ○ | a: 産業構成および産業立地の変化に関心を持ち，さらに近年の情報社会の到来や地域間の結びつきの変化が与える影響にも関心が高まっている。<br>b: 日本と世界各国の産業構造の変化について，その背景を考察している。<br>c: 日本や世界各国の産業構造やその変化を，表やグラフなどの図を用いて表現する方法を身に付けている。<br>d: 産業の分類について理解した上で，産業構成の歴史的変容と，それに伴う産業立地の変化について理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 資源・産業 | エネルギーと鉱産資源・産業の立地と変容 | ○ | ○ | | ○ | a: 暮らしを支えるエネルギーの重要性とともに，エネルギー生産と消費の偏在性に伴い生じる課題や，原発がもたらす問題点といった，エネルギー問題全般に対する関心を深めている。<br>b: エネルギー消費の偏りについて，その背景を考察している。鉄鉱石の輸出国と輸入国について，それぞれの国の特徴から貿易の背景を考察している。<br>c: さまざまな資源の生産や分布，消費に関する統計を読み取り，資源ごとにその特徴を捉えている。<br>d: さまざまな資源の分布と消費地を知り，それぞれの資源の貿易やその背景を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 前期 | 資源・産業 | 農業の立地と農業地域の変容 | | ○ | ○ | ○ | a: 農業と自然との関係や，歴史的な変革の過程に関心を持ち，近年の農産物貿易拡大によって生じる諸問題についても多面的・多角的な問題意識を持っている。<br>b: 農業立地の成立要因について自然，社会，市場との距離，経済水準，国家政策の側面から考察している。<br>c: 農・水産業の生産や貿易に関する諸資料について，その特徴や問題点を適切に読み取っている。<br>d: 世界の農・水産業の特色，分布，貿易の背景について自然，社会，市場との距離，経済水準，国家政策の側面から理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 資源・産業 | 工業の立地と工業地域の変容 | | ○ | ○ | ○ | a: 工業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件について関心が高まっている。<br>b: 業立地に影響を及ぼすさまざまな自然条件や社会条件を考察している。さらに，現在までの工業立地の変化要因についても考察している。<br>c: 工業の生産や貿易に関する諸資料について，先進国と発展途上国，国際分業といった観点から，その特徴や問題点を適切に読み取っている。<br>d: 工業立地の類型とそれぞれの立地の背景を理解している。先進国と発展途上国それぞれにおける産業の集積の特徴を理解し，国際分業の変化とそれに伴う国際競争の激化についても理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 前期 | 資源・産業 | 流通･サービス業 | ○ | | | ○ | a: 交通・通信手段および貿易の変化や，先進国のサービス経済化について関心が高まっている。<br>b: 交通・通信手段や貿易について，その変化や国ごとの特徴を明らかにし，その背景を考察している。<br>c: 交通・通信手段や貿易について，その変化や国ごとの特徴を諸資料から読み取り，その背景を明らかにしている。<br>d: 自由貿易体制が構築された背景やそれに伴い生じた国際分業体制の特徴について，日本の貿易の特徴と抱えている課題を絡めて理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 資源・産業 | 資源･エネルギー問題 | ○ | | ○ | ○ | a: 化石燃料の大量消費に伴い生じる枯渇化や地球温暖化などの環境問題についてさまざまな観点から関心を持ち，課題解決への取り組みに積極的な姿勢を見せている。<br>b: 地球温暖化などの環境問題をさまざまな観点から考察し，その背景を表現している。<br>c: エネルギー消費の現状および変化を示した諸資料をもとに，国もしくは地域ごとの特徴や問題点を読み取っている。<br>d: 化石燃料の大量消費に伴い生じる枯渇化や地球温暖化などの環境問題について，その背景を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 前期 | 資源・産業 | 食料問題 | | ○ | | ○ | a: 食料の供給・生産・流通における地域差に関心を持ち，その背景を追究している。<br>b: 食料の供給・生産・流通における地域差が生じる背景を考察している。<br>c: 食料生産および消費に関する諸資料から，地域ごとの特徴と問題点を読み取っている。<br>d: 食料の供給・生産・流通における地域差とその問題点を理解し，食料問題の解決に向けた取り組みに関する知識を身に付けている。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 人口・都市・村落 | 人口 | ○ | | | ○ | a: 世界の人口分布と人口推移およびそれぞれの地域が抱える人口問題について関心が高まっている。<br>b:人口の諸資料から，国ごとの特徴と問題点を考察し，これらの国々を類型化して整理している。<br>c: 人口の諸資料から，国もしくは地域ごとの特徴と問題点を読み取っている。<br>d: 世界の人口分布と人口推移および人口動態の特徴を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 人口・都市・村落 | 都市･村落 | | | ○ | ○ | a: 都市の内部構造や，村落の立地と自然条件の関係について関心が高まっている。<br>b: 村落の形態および村落の立地と自然条件の関係について考察している。<br>c:都市に関する諸統計から，それぞれの都市の特徴を読み取っている。村落の形態や立地条件を地形図から読み取っている。<br>d: 都市の内部構造や村落の形態および村落の立地と自然条件の関係について理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 人口・都市・村落 | 人口問題 | ○ | ○ | | ○ | a: 発展途上国と先進国それぞれの人口問題に関心を持ち，課題に対する取り組みにも関心が高まっている。<br>b: 発展途上国と先進国がそれぞれ抱える人口問題の違いに気づき，その背景をそれぞれ考察している。<br>c: 人口爆発，少子高齢化などの諸問題を，人口に関する諸統計から正確に読み取っている。<br>d: 発展途上国が抱える人口爆発の要因とそれによって生じる社会問題，先進国が抱える少子高齢化の社会的背景とそれによって生じる諸問題とともに，それぞれの問題解決に向けた取り組みを理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 人口・都市・村落 | 居住･都市問題 | ○ | ○ | | | a: 発展途上国と先進国それぞれの居住･都市問題に関心を持ち，課題に対する取り組みにも関心が高まっている。<br>b: 発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住･都市問題の違いに気づき，その背景をそれぞれ考察している。<br>c: 発展途上国と先進国がそれぞれ抱える居住･都市問題の現状とその背景を，諸資料や写真などから読み取っている。<br>d: 居住・都市問題について，その社会的背景や改善へ向けた取り組みについて理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 生活文化・民族・宗教 | 生活文化 | ○ | ○ | | | a: 生活文化の差異に関心が高まっている<br>b: 生活文化について，自然環境との関係を考察している。<br>c: 写真や諸統計から，世界各地の生活文化の特徴をそれぞれ読み取っている。<br>d: 生活文化の地域性とその差異について，自然環境との関係から理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 生活文化・民族・宗教 | 民族･言語･宗教 | | | ○ | ○ | a: 言語・宗教文化の多様性とその分布について関心が高まっている。<br>b: 言語・宗教文化の多様性とその分布の背景について考察している。<br>c: 言語および宗教が生活と結びついている様子を示す写真資料などから，文化の多様性を読み取っている。<br>d: 民族の定義を踏まえた上で，言語および宗教の分布を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 生活文化・民族・宗教 | 民族問題･言語問題 | ○ | ○ | | ○ | a: 民族紛争の社会的背景について関心が高まっている。<br>b: 民族紛争の社会的背景を整理し，共通点および相違点を考察している。<br>c:民族紛争の社会的背景を，各種資料から明らかにしている。<br>d: 民族紛争の社会的背景と問題点を理解し，多文化共生への取り組みに関する知識を身に付けている。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 生活文化・民族・宗教 | 領土問題 | ○ | ○ | | ○ | a: 領土問題の要因を踏まえ，その背景に関心を向けている。<br>b: 各国の領域や国境線の特性を比較考察している。<br>c: 世界の領土問題の背景を各種資料から明らかにしている。<br>d:領域や国境の概念を踏まえ，様々な領土問題の存在を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代社会の諸地域 | 地域区分と地誌的な考察方法 | ○ | | ○ | | a:地域区分や地誌的な見方に基づいて，世界の諸地域の特色に関心を向けている。<br>b:地域区分を行うことの意義や地誌的考察方法の適切な用い方について考察している。<br>c:様々な指標から地域区分を行い，地誌的な考察方法を用いて，諸事象を地図化できる。<br>d:地域を区分する意義や地誌的な考察方法を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 現代世界の諸地域 | 中国 | ○ | ○ | | ○ | a: 経済成長が進む現在の様子と，それに伴うさまざまな影響について関心が高まっている。<br>b:急速な経済成長が起こった背景や，現在の経済格差や環境問題などの諸問題の背景を考察している。<br>c:自然，歴史，経済，社会，文化に関する諸資料から，中国の変容および現状の特徴を読み取っている。<br>d: 中国の自然，歴史，経済，社会，文化の地域的特色や，諸課題とその対応，世界に広がる中国の影響力を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | 日本と韓国 | ○ | ○ | | ○ | a: 日韓の自然，産業，文化について関心が高まっている。<br>b: 日韓の自然，産業，文化の共通点と相違点を表現できる。<br>c: 日韓の諸資料について，両国を比較して読み取っている。<br>d: 日韓の自然および文化についての知識を身に付け，両国の経済，産業，地域構造の変遷と将来の課題を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | 東南アジア | ○ | ○ | | ○ | a: 東南アジアの自然，文化，産業の特徴と，政治・経済面での結びつきについて関心が高まっている。<br>b: 東南アジアの自然，文化，産業について，国もしくは地域ごとの共通点と相違点をそれぞれ整理して表現している。<br>c: 東南アジアの自然，文化，産業，社会の諸資料から，各国の特徴をそれぞれ読み取っている。<br>d: 東南アジアの自然および文化についての知識を身に付けるとともに，経済，産業，政策の現在までの変遷と，現在の政治・経済面での結びつきを理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 現代世界の諸地域 | インド | ○ | ○ | | ○ | a: 経済発展を軸として，産業，農村，社会の変化に関心が高まっている。<br>b:経済発展の背景にある政策や産業開発，工業化の進展について整理し，その結果生じた社会の変容について因果関係から考察できる。<br>c: インドの諸資料から，各地域の多様性を読み取る。<br>d:経済発展の様相を理解するとともに，産業，農村，社会の変化に関する知識を身に付けている。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | 西アジア・北アフリカ | ○ | ○ | | ○ | a: 西アジア・北アフリカの自然，歴史，文化，産業の特徴について関心が高まっている。<br>b: 西アジア・北アフリカ諸国の共通点を整理し，民族，宗教，言語の相違点を考察している。<br>c: 西アジア・北アフリカの諸資料から，各国の特徴を読み取っている。<br>d: 西アジア・北アフリカの形成過程と現在の課題について背景を踏まえながら理解するとともに，資源や民族対立に関する問題点を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | サハラ以南のアフリカ | ○ | ○ | | ○ | a: サハラ以南アフリカの特徴について関心が高まっている。<br>b: サハラ以南アフリカ諸国の産業の共通点，経済・社会問題，民族問題の現状について考察している。<br>c: サハラ以南アフリカの諸資料から，各国の特徴や問題点をそれぞれ読み取っている。<br>d: サハラ以南アフリカの自然環境や文化の特色および成り立ちを知り，経済構造の特徴や民族対立の問題点と結びつけて理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 現代世界の諸地域 | ヨーロッパ | ○ | ○ | | ○ | a: ＥＵの統合の歴史，民族・宗教の多様性，各国の産業の特徴，ＥＵが抱える諸課題に関心が高まっている。<br>b:統合が進むＥＵの共通点を整理するとともに，ＥＵ内部の地域差にも着目し，その背景を考察している。<br>c: ＥＵに関する諸資料から，ＥＵの特徴および各国の多様性を読み取っている。<br>d: 統合と拡大が進むＥＵの民族，歴史，産業，国際関係をＥＵ全体の視点と国ごとの視点の両方から理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | ロシアとその周辺諸国 | ○ | ○ | | ○ | a: ロシアと周辺諸国の自然と民族の多様性および経済，社会，産業の特徴に関心が高まっている。<br>b: ロシアと周辺諸国の経済・社会や人口，人々の生活の変化を，市場経済への移行と関連づけて考察している。<br>c: ロシアと周辺諸国の諸資料から，現状の特徴および多様性を読み取っている。<br>d: ロシアと周辺諸国の自然と民族の多様性および経済，社会，産業の特徴を理解し，ロシアにおける市場経済への移行に伴う変化とその問題点についての知識を身に付けている。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | 北アメリカ | ○ | ○ | | ○ | a: 北アメリカの自然，農業，歴史，民族，工業，社会について関心が高まっている。<br>b: 北アメリカを様々な指標で地域区分して，地域の特徴を他地域と比較している。<br>c: 北アメリカの諸地域の特徴を諸資料から読み取っている。<br>d: 北アメリカの自然環境と農業地帯との関係や，産業や社会の変容過程を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 現代世界の諸地域 | 中央･南アメリカ | ○ | ○ | | ○ | a: 中央・南アメリカの自然環境について関心が高まるとともに，文化や民族の分布および産業の特徴を歴史と関連づけて捉えようとしている。<br>b: 中央・南アメリカの自然，文化，民族，産業について，国もしくは地域ごとの共通点と相違点をそれぞれ整理して表現している。<br>c: 中央・南アメリカの自然，文化，民族，産業について，国もしくは地域ごとの共通点と相違点を諸資料から読み取っている。<br>d: 中央・南アメリカの自然環境や，経済発展およびグローバル化に伴う影響と諸課題に関する知識を身に付けるとともに，文化および民族の分布や産業の特徴について歴史的背景を踏まえながら理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 後期 | 現代世界の諸地域 | オーストラリアとカナダ | ○ | ○ | | ○ | a: オーストラリアおよびカナダの先住民，移民，自然環境，資源，産業，社会，生活，国際関係における共通点と相違点に関心が高まっている。<br>b: オーストラリアとカナダの特徴について，両国の歴史と関連づけて考察している。<br>c: オーストラリアおよびカナダの諸資料から，両国の共通点と相違点を読み取っている。<br>d: 多文化社会を形成しているオーストラリアとカナダについて，移民，自然環境，資源，産業，社会，生活，国際関係の特徴を理解している。 | 授業発問<br>課題提出<br>小テスト<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。